

トヨタ、新型ワゴン「グランビア」を発売

— 乗る人にやさしい ゆとりの高品位空間を創出 —

トヨタ自動車(株)は、新型ワゴン「グランビア」*を8月22日より全国のトヨタオート店を通じて一斉に発売した。

グランビアは、「これからのワンボックス」をテーマに3ナンバー ワンボックスボデーのゆとりのスペースと高級サロンの質感を融合し、多様な用途に応えることを念頭に開発した全く新しいワゴンである。

【主な特長】

1. 力強く重厚なスタイル

堂々として安定感のあるワンボックスボデーに大胆なレリーフ、キャラクターラインをデザイン。

2. ゆとりある高品位空間

フラットで低いフロアにより人にやさしい乗降性とウォークスルーを実現するとともに、スーパースペースアップシートを採用し、多様な用途に対応。

3. 優れた安全性

ABS、および運転席・助手席にSRSエアバッグをワンボックスとしては日本で初めて全車に標準装備。

4. 高級車にふさわしい静粛性

エンジンなど振動・騒音の発生源からその発生を抑えるとともに、高剛性ボデー、制振材・遮音材の効果的な配置でその伝達を抑制。

5. ゆとりの走行性能

3.0ℓディーゼルターボエンジン、2.7ℓガソリンエンジンの動力性能と4輪独立懸架が生む確かな走り。

また、構成部品の軽量設計や、樹脂部品のリサイクルのしやすさに配慮したビスなどを用いない新しい結合方法の採用、低燃費エンジンなどにより、省資源・省エネルギーに配慮している。

なお、4WD車については、本年10月16日の発売を予定している。

* グランビア：GRANVIA＝イタリア語のGRANDE（偉大な）とVIA（道）からの造語



グランビア G 2.7ℓガソリン 2WD [E-RCH11W-GRSGK]
〈オプション装着車〉

【車両概要】

1. 力強く重厚なスタイル

- ・全長4,715mm、全幅1,800mm、全高1,965mm（2WD）の堂々たるワンボックスボデーを基本に、バンパーからフード、フロントサイドウインドウ後方へと続くキャラクターライン、台形に構えたバンパー開口部、勢いを持って流れるようなルーフライン、ボデー中央を貫く大胆なV断面のレリーフなどにより力強い安定感を表現。

2. ゆとりある高品位空間

- ・エンジンをフロントにマウントするとともに、新開発のセミトレーリングアーム式リヤサスペンションを採用することにより、フロア高さを低く抑え、フラットで広い室内を実現。
- ・インテリアにはファブリックを多用し、室内の雰囲気や手触りにも配慮することで高品位な空間を追求。
- ・乗る人へのやさしさを念頭に、フロア高さを520mm（2WD）と低く設定することで乗降時の腰部の上下動を抑え、運転席をはじめ、各乗員席への乗り降りのしやすさに徹底して配慮。
- ・全高1,965mm（2WD）、全幅1,800mmの中で、室内高1,375mm（ノーマルルーフ）、室内幅1,635mmを確保し、自然な姿勢でウォークスルーが可能な空間を実現。
- ・セカンドシートは、前後最大410mmのスライドのほか、回転対座およびフルリクライニングが可能。さらにサードシートは、前後最大945mmのスライドを可能とし、後方へ移動させることで、広大なレッグスペース（最大前後820mm）を確保。また、サードシートのクッションを折り畳むことにより、最大2,560ℓのラゲージスペースを創出できるなど多様な用途に対応できるスーパースペースアップシートを採用。
- ・フロントシートは、運転席左および助手席の右にアームレストを、さらにシート背面にセカンドシート用回転式フットレストを設定したほか、Qグレードのセカンドシートには、キャプテンシートを採用。サードシートには、中央部に可倒式大型アームレストを装備。

3. 優れた安全性

〔予防安全〕

- ・人間工学に基づき、広い視界、計器類の優れた視認性、各スイッチ・レバー類の操作性を追求。
- ・ロングホイールベース、ワイドトレッド、4輪独立懸架の採用、あわせてABSの全車標準装備により高い走行安定性とともにより優れた危険回避運動性能を確保。

〔衝突安全〕

- ・国内の新安全基準への適合はもとより、様々な衝突形態に対しても、客室の生存空間を確保し、乗員への衝撃の緩和を図るボデー構造を採用。
- その上で、運転席および助手席へのSRSエアバッグの全車標準装備などにより、高い衝突安全性を確保。

4. 高級車にふさわしい静粛性

- ・バランスシャフト付きのディーゼル、ガソリンエンジンの搭載のほか、3ジョイントプロペラシャフトなどの採用で、振動・騒音の発生を抑えるとともに、その伝達を抑制するボデー構造の設計、制振材・遮音材の効果的配置により高級車にふさわしい優れた静粛性を実現。

5. ゆとりの走行性能

- ・高出力とクリーンさを両立した3.0ℓディーゼルトーボエンジンの1KZ-TE、2.7ℓガソリンツインカムエンジンの3RZ-FEを搭載し、高級車にふさわしい余裕の動力性能を確保。

〔搭載エンジン〕

機 種 名	排気量	最 高 出 力	最大トルク
1 KZ-TE (3.0ℓディーゼルトーボ)	2,982cc	130PS／3,600rpm	29.5kg・m／2,000rpm
3 RZ-FE (2.7ℓガソリン)	2,693cc	145PS／4,800rpm	22.6kg・m／4,000rpm

- ・4輪独立懸架としたサスペンションは、フロントにダブルウィッシュボーン式をリヤにはセミトレーリングアーム式を採用。十分なストロークを持たせるとともに、ロングホイールベース、ワイドトレッドとあいまって、直進・横風安定性をはじめとする高い走行安定性および、ダイレクト感のある優れた操縦性により、ゆとりある走りを実現。

6. 省資源・リサイクルへの配慮

- ・軽量設計による省資源、低燃費の追求により省エネルギーを追求。
- ・インストルメントパネルと空調ダクトなどを同材質の樹脂とした上で、その結合にビスなどを用いない新しい結合方法*を採用するなどリサイクルのしやすさに配慮。
- ・リサイクル性に優れた熱可塑性樹脂のトヨタスーパーオレフィンポリマーをバンパーなどに積極的に採用したほか、工程内で発生した樹脂端材をエンジンアンダーカバーに採用。

* 振動溶着：樹脂部品を互いに押し付けながら微振動を加えて、接触面を発熱・溶解させることで接着する結合方法

【販売概要】

- 1. 販 売 店 全国のトヨタオート店
- 2. 月販目標台数 1,500台
- 3. 店頭発表会 9月9日（土）、10日（日）

【メーカー希望小売価格】

（消費税は含まず、単位：千円）

グレード	定 員	エ ン ジ ン	駆 動	トランスミッション	東 京	名古屋	大 阪	
G	8	3 R Z - F E 〔 2.7ℓ ガソリン〕	2 W D	E C T	2,685	2,680	2,685	
Q	7				3,127	3,122	3,127	
G	8	1 K Z - T E 〔 3.0ℓ ディーゼル ターボ〕			4 W D	2,840	2,835	2,840
Q	7					3,282	3,277	3,282
G	8		3,114			3,109	3,114	
Q	7		3,568			3,563	3,568	

◎：掲載写真（除くオプション）

- ・ E C T：電子制御式4速オートマチック

以 上